

(4) 屠殺解体成績

RTC、精肉、ブロイラー歩留は共に大差は認められず、体成分分析ではTDNの高い区が粗脂肪が多い様ではあったがCP、TDNの関連において一定の傾向が見られなかった。

以上の二回の成績において発育においてはカ一回とカ二回の向に矛盾している面もあるがCP16、TDN73の飼料は2回共に発育も良く、経済性としての胚当生産飼料費の安価であること等を総合してこのCPとTDNの配合割合の飼料を標準飼料として推奨しても良いと考えられる。

なお本試験に附随して行なった地域的飼料成分調査結果は次のようである。

品名	成分	水分	粗脂肪	粗蛋白質	粗繊維	粗灰分	無窒素物
裸麦	荒糠	13.50	2.20	13.40	6.72	3.40	60.78
〃	仕上	14.50	2.70	12.66	0.52	1.66	67.92
大麦	荒糠	13.73	3.14	9.18	14.58	6.34	53.03
〃	中糠	14.00	6.28	17.14	8.58	4.41	47.59
〃	仕上	14.00	3.83	13.34	1.28	3.40	64.15
玄米	荒糠	14.35	10.85	12.64	8.51	7.41	46.24
〃	仕上	12.50	11.38	10.69	4.16	7.87	53.40
ビール麦	荒糠	13.00	3.36	13.81	14.56	6.41	48.86
〃	仕上	13.37	3.40	9.61	1.11	1.71	70.80
小麦	麦皮	14.22	4.48	15.41	5.69	4.20	56.00

本試験実施に際して、体成分の分析、飼料の成分調査等に御協力を賜わった、東京都農業試験場鈴木普枝師に深く感謝の意を表します。

二、ケージ飼養における飼料の型状の相異が、産卵状況、飼料摂取量に及ぼす影響に關する試験

殿内正芳 清水明良
井崎金二 名倉清一

ケージとゆう特殊の環境内にあっては飼料の摂取量に影響を及ぼしひいては産卵状況にも影響を及ぼすと思われるのでこれについて知るべく実施した。

方 法、

供試鶏は単冠白色レグホーン種2産年鶏雌80羽でこれを4区とし、3月から5月までの3ヶ月間を自動給餌機により、6月以降11月までの6ヶ月間を手動給餌により行なった。

手動給餌期間は供試羽数を1区24羽宛とし又初産年度鶏1区21羽宛とした。給与飼料及び給与方法は次の様である。

	給与飼料	CP	TDN	給 与 方 法	単価(K当)
1区	粉粒混合	16	68	1日3回そのまま給	31 ^円 50 ^銭
2区	ペレット	16	68	与、午後1羽当40gの	34.00
3区	マッシュ(荒目)	16	68	緑餌給与。	31.50
4区	マッシュ	16	68		34.00

1区と3区、2区と4区の配合内容は同一であつて型態が異なり、CP、TDNは同一である。

成 績

(イ) 産 卵 状 況

産卵率及び平均産卵重量は表Iの通りで、3月から5月までの自動給餌機使用期間と8月までの換羽鶏発生前を比較すると各区共に手動給餌期間が産卵率、卵重量共に良い。

2産年度鶏の1区と3区を比較すると、産卵率、卵重量共ほとんど差がない。4区向では4区が最も良く、1区、3区はほぼ同じ、2区のペレットが悪かった。

初産年度鶏においても6月の産卵重量はその後においても大差がなかった。

産卵率は1区3区と2区、4区の間に差が生じているがこれはCP、TDNが同一であるが配合の内容の相異が表われて来たものと思われた。

同一内容により飼料型状差は明確に表われなかった。

表 I. 產卵率及平均卵重

區別	項目	3	4	5	6	7	8	9	10	11	平均	
											3-5月並	6-11月並
二 產 年 度 鷄	1 產卵率 卵重量	48.3 [%]	43.3	54.8	58.1	56.8	57.6	58.2	30.4	13.0	47.9	48.4
		57.3 [%]	57.7	55.3	58.1	56.8	57.6	58.2	58.5	59.2	57.8	57.4
	2 產卵率 卵重量	61.0	56.2	62.7	71.5	55.9	57.7	38.0	20.8	9.7	42.7	47.4
		56.7	55.7	53.7	57.9	56.0	57.1	55.8	56.5	55.7	56.8	56.2
3 產卵率 卵重量	35.2	49.7	52.9	68.2	67.1	61.4	50.1	25.5	10.5	47.1	47.7	
	56.4	57.5	57.0	57.5	56.8	56.8	57.5	58.8	58.2	57.1	57.2	
4 產卵率 卵重量	57.6	63.2	63.0	74.4	72.2	70.8	57.6	32.7	7.2	61.7	55.6	
	58.4	56.6	55.9	57.0	55.8	56.0	56.2	57.3	57.2	56.7	56.5	
初 產 年 度 鷄	1 產卵率 卵重量				71.0	47.9	54.2	49.5				56.9
					56.6	55.1	56.4	56.9				56.2
	2 產卵率 卵重量				77.6	72.1	66.0	48.4				67.0
					58.4	57.2	57.8	58.1				57.8
3 產卵率 卵重量				66.2	57.3	46.2	37.9				52.5	
				58.7	57.8	56.6	52.9				56.9	
4 產卵率 卵重量				82.2	79.6	68.5	52.5				70.7	
				57.2	56.2	55.6	57.2				56.5	

(ロ) 飼料摂取状況

飼料の摂取量は自動給餌中とその後の手動給餌期間では手動期間が摂取量が増加している。

2産年度鶏では1区と3区では1区が僅かに多く、2区と4区では2産年度鶏と反対に2区が多かった。表Ⅱの通りである。

(表Ⅱは次頁)

(ハ) 飼料要求率と飼料費

飼料要求率と飼料費は表Ⅲのようで、2産年度鶏の1区と3区では3区が僅かに良く、2区と4区では4区が良く、初産年度鶏では1区と3区では1区が僅かに良く、2区と4区では4区が良く、相当生産飼料費も要求率の良かった区がそれぞれ安価であった。

(表Ⅲは次頁)

摘要

2産年度鶏80羽、初産年度鶏96羽の単冠白色レグホーン雌を使用し、ケージ飼養における飼料の性状と摂取量、産卵状態について調査を行なった。

(1) 飼料はC P 16、TDN 68の飼料で1区と3区は同一飼料によるやや荒いマッシュと粉粒混合の飼料であり、2区と4区は同一飼料によるオールマッシュとペレットで、5月までは自動給餌機を使用し、以後は手動給与した。

(2) 産卵状態は初産、2産年度鶏共に1区と3区では産卵率、卵重共に大差がなく、2区と4区では2産年度鶏は産卵率は4区が良く、卵重量は大差はなかつた。初産年度鶏は産卵率は4区が良好であったが、開始時の産卵状態よりして大差のないものと思われ、卵重量も又大差はなかつた。4区向全体を通じてC P、TDNは同一であるが1,3区と2,4区では2,4区が良くこれは配合の内容による相異により現われたものと思われる。

(3) 飼料摂取量は自動給餌中と手動給餌期間では手動期間が多く。1区と3区では1区が2区と4区では4区が多かった。

初産年度鶏では1区と3区は大差なく、2区と4区では2区が多かった。

(4) 飼料要求率及び相当生産費は2産年度鶏の1区と3区では3区が僅かによく、初産年度鶏は1区が僅かに良かった。2区と4区では両年度鶏共に4区が良かった。

以上の結果を総合的に考えるとオールマッシュ飼料が良い様に思われる。

表 II 飼料採取量 (1日1羽当)

区別	月別	3	4	5	6	7	8	9	10	11	3月-5月迄	6-11月迄	平均
1	2産年度鶏 初産年度鶏	99.0	82.6	93.0	101.3	103.2	98.5	98.7	100.5	94.3	91.8	99.8	97.5
2	"	97.8	74.7	93.1	100.8	93.6	94.5	128.0	65.7	54.1	87.5	80.7	82.6
3	"	87.0	89.6	98.3	97.8	105.9	102.4	73.6	89.2	69.2	90.6	96.8	94.9
4	"	88.7	84.2	94.4	97.5	101.2	93.1	121.7	72.7	68.9	89.1	90.1	102.5

表 III 飼料要求率と産当生産飼料費

区別	月別	3	4	5	6	7	8	9	10	11	5月迄	11月迄	平均
1	2産年度鶏 要求率 飼料費	3.574 112.58	3.304 104.08	3.065 96.55	2.483 78.21	2.816 88.70	3.045 95.92	4.024 126.76	5.645 172.82	12.256 386.06	3.275 103.16	3.607 113.62	3.511 110.60
2	同上	2.829 96.19	2.388 81.19	2.777 94.42	2.433 82.72	2.574 87.52	2.700 91.80	3.803 122.30	5.600 190.40	12.344 419.70	2.654 90.27	3.332 113.29	3.102 105.47
3	同上	4.076 128.39	3.136 98.78	3.257 102.60	3.462 109.05	2.782 87.63	2.933 92.39	2.557 80.55	5.952 187.49	11.366 358.03	3.366 106.03	3.525 111.04	3.475 109.46
4	同上	2.637 89.66	2.358 80.17	2.681 91.15	2.141 72.79	2.630 89.42	2.629 89.39	2.970 100.98	3.865 131.41	15.593 530.16	2.547 86.60	3.001 102.03	2.859 97.21

区別	月別	3	4	5	6	7	8	9	10	11	5月迄	11月迄	平均	
1	初産年度鶏 要求率 飼料費				2.585 81.43	3.546 111.70	3.108 97.90	4.546 143.20						3.288 103.57
2	同上				2.362 80.31	2.329 79.19	2.576 87.58	3.847 130.80						2.641 89.79
3	同上				2.527 79.60	3.053 96.17	3.563 12.23	6.080 191.52						3.428 107.98
4	同上				2.385 81.09	2.257 76.74	2.182 74.19	3.323 112.98						2.471 84.01